

乳腺疾患をワンストップで提供：新規開設ブレストセンター

2021 年 06 月 23 日

※本コンテンツは、医師の方を対象とし、当医療機関についての理解を深めていただけるよう作成しているものであり、一般の方を対象とする宣伝・広告等を目的としたものではありません。

初めまして、NTT 東日本関東病院 乳腺外科部長の沢田 晃暢(さわだ てるまさ)と申します。
今回、当院で 2021 年 4 月に新たに開設したブレストセンターについてご紹介いたします。
NTT 東日本関東病院では、2019 年 4 月に乳腺外科を設立し、2021 年 4 月 5 日にブレストセンターを開設いたしました。
精査目的の患者さんや乳がん患者さんがワンストップに検査から治療までできるよう、体制・設備面を整えました。



沢田 晃暢
乳腺外科
部長

患者さんが快適で安心できる受診環境を提供

近年、乳がんを患う人が年々増えています。女性の 10 人に一人が乳がん罹患する時代であり、女性の間では、疾患に対しての不安感も強く存在するようです。さらには、15～39 歳の若年成人、いわゆる「AYA 世代」の乳がんや、男性の乳がんも、全体からすると、割合は少ないものの、注意していかなければいけない世代です。

そこで、患者さんが快適で安心できる受診環境を提供し、より質の高い乳がん診療を実現すべく、ブレストセンターをオープンすることになりました。各診療科、多職種が密に連携するとともに、がん相談支援センターによるソーシャルサポート、遺伝性がんを疑う患者さんに対する遺伝カウンセリングなど、多角的なアプローチで、乳がんと向き合う患者さんご家族をバックアップします。

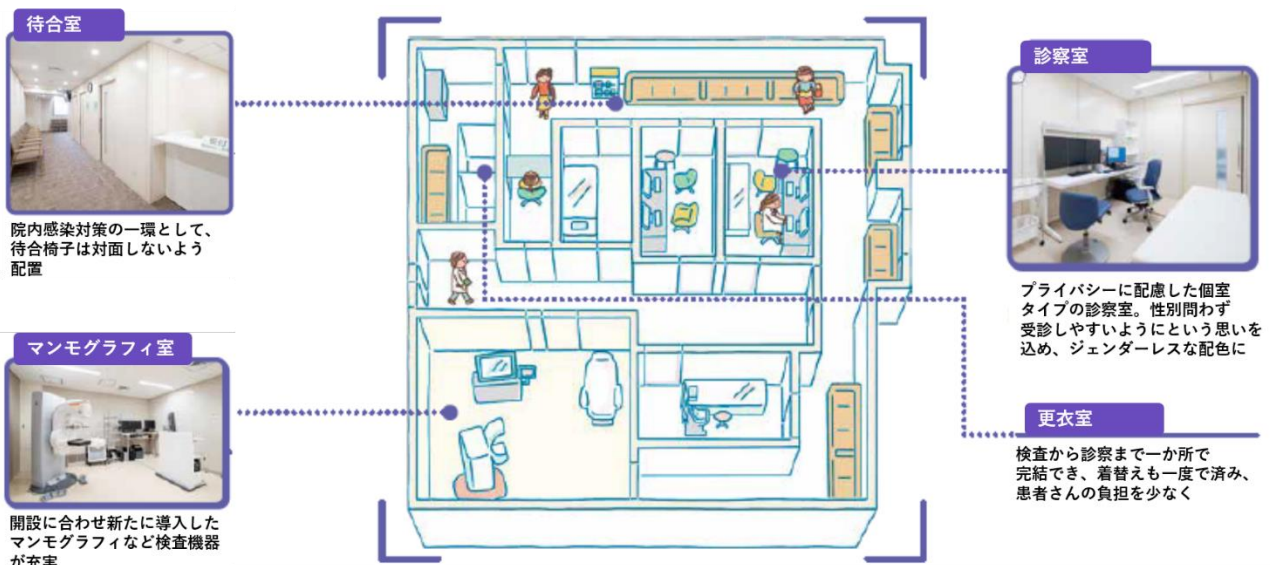
女性はもちろんのこと、男性の女性化乳房や男性乳がん診療についても力をいれております。

一部体制が整っていない分野もございますが、順次完成させたいと考えております。

当院のブレストセンターの特徴

ワンストップの診療

患者さんが移動なしに診察、検査、診断を受けられるよう、必要な設備をセンター内に集約しました。乳房温存術・全摘術、乳頭乳輪温存乳房切除、乳がん手術後の再建手術などの手術療方は手術室にて実施、乳がんの転移・再発時を含む化学療法、などは腫瘍内科、放射線治療は放射線科と相談しながら行います。なお、男性でも受診しやすいよう、内装はブレストセンターに特徴のあるピンクに統一せず、ニュートラルな配色にしました。



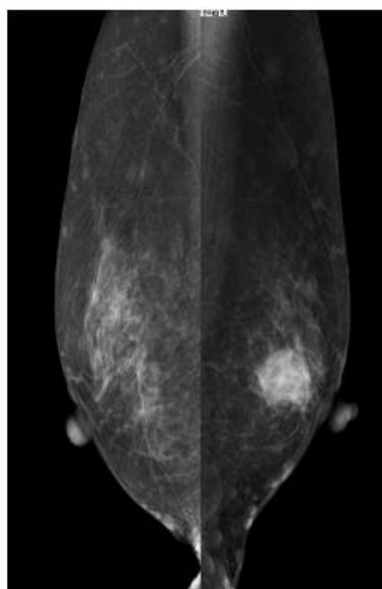
充実した検査

新型のマンモグラフィ、超音波診断装置のほか、必要に応じて乳房 MRI を使用し精度の高い診断に努めます。当院のマンモグラフィはより楽な姿勢で受けられる側臥位ステレオガイド下マンモトームに対応しています。また、がんを疑うしこりが見つかった場合は、組織を採取する穿刺吸引細胞診、針生検、または吸引針生検を実施します。リンパ節転移の有無を調べるセンチネルリンパ節生検については、RI 法に加えて、放射線被ばくを伴わない ICG を使用した蛍光法も採用しています。

男性の女性化乳房



女性の左乳房癌



乳房穿刺検査

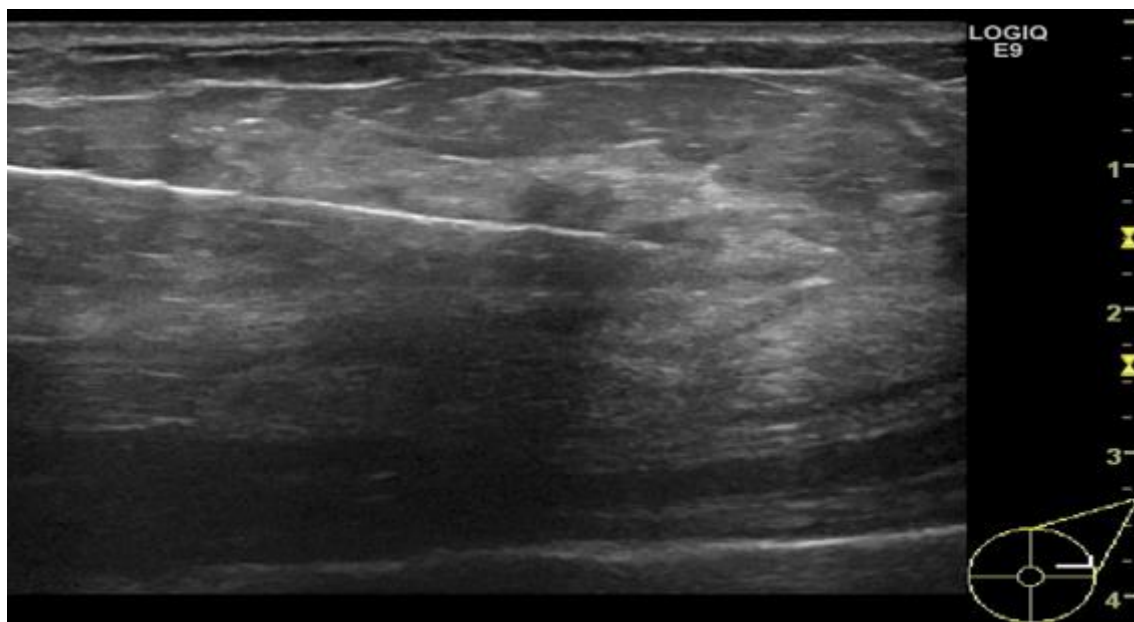
乳房内の異常を正確に把握するためには、最終的に組織検査を行います。

エコーで確認できる腫瘍などは、エコー下生検を行います。

針の太さは様々ですが、下記の写真のような器具を使用して、エコーで見ながら穿刺を行います。



下記の写真は、穿刺の針が乳房内で腫瘍を貫いたところです。



仮に、エコー検査で見えずマンモグラフィ検査でしか異常を認めない石灰化症例の場合には、マンモグラフィ下で生検を行います。



乳癌の診断を行うには、生検という手技は非常に大切になっています。

スムーズな連携

乳腺専門医を筆頭に、形成外科、放射線科、腫瘍内科の各専門医、麻酔科医、がん化学療法看護認定看護師、検査技師などが定期的にカンファレンスを実施。個々の患者さんの病状を共有し、治療方針を決定します。乳房切除と再建を同時に行う形成外科との合同手術も実施しています。また、遺伝性乳がんを疑う患者さんに対して、医師、遺伝カウンセラー、遺伝看護専門看護師による検査、カウンセリングなど、専門性の高い遺伝子診療を提供しています。

[ブレストセンター講演動画はコチラ](#)

[ブレストセンターご紹介動画はコチラ](#)

当院の乳がん治療の特色

診断はもとより、手術において、特に再建手術に力を注いでおります。当然のことながら、形成外科と連携して乳房切除＋再建手術を行います。今まで2回に分けて手術を行っていたインプラントの再建手術ですが、最近では、エキスパンダーを挿入せず、インプラントを手術時に直接挿入し、一回で再建手術を終了するよう努力しております。乳房の大きさによっては、ご希望に添えないこともございますので、詳細につきましては、お問い合わせください。

その他の自家組織を使用した再建手術も行っておりますので、お気軽にお問い合わせください。

がん相談支援センターによる手厚いサポートも

地域がん診療連携拠点病院（高度型）に指定されている当院では、治療、病状、緩和ケア、セカンドオピニオンに関する質問のほか、病気による生活全般の心配事、経済的な不安など、何でも相談できる「がん相談支援センター」を設置しています。15～39歳のAYA世代は特に、学業や仕事、家事、子育て、介護と治療の両立に悩まれる方が多いですが、看護師や医療ソーシャルワーカーと一緒に考えて、最善の解決策を見つけられるようサポートいたします。

地域の先生との連携にあたって

乳腺疾患のことであれば、ご依頼ください。診断後に問題ないと判明した場合には、その後の検診施設や、経過観察していただける自宅近くのクリニックや診療所をご紹介します。その際は、医療連携室にご連絡ください（**医療連携室 直通 TEL:03-3448-6192 平日 8:30～17:00 まで**）。

ブレストセンターが開設されて間もないため、患者さんは、綺麗で清潔な場所で診療を受けることができます。患者さんの気分も違うと思います。

関連施設の先生には、このコロナ禍で、開設式を行えず、ブレストセンターのお披露目ができておりません。お時間があるときにでも一度お寄りください。

また、当院は地域の先生方との連携の形として、連携登録を積極的に進めております。こちらにご登録いただいた方については、定期的に診療に役立つ資料の送付や当院の診療科・医師紹介資料をお送りしておりますので、是非お気軽にご登録ください。以下の URL よりダウンロードいただき送付ください。

連携登録にご協力をお願いします

当院の患者さんを含む地域の活動について

当院では、毎月各診療科から市民・医師の方々向けに WEB 講座を実施しています。

最近では毎回 100 名を超える方々にご参加いただいております、うち 30%は先生方にご参加いただいております。

主に市民向けのメッセージが多いですが、先生方にも患者さんへのご説明の際に活用いただいたり、

先生方の担当されている患者さんの患者教育にもご活用いただいております。

是非お気軽にご参加・患者さんへご案内ください。

当院のイベント開催情報



沢田 晃暢(さわだ てるまさ)

乳腺外科 部長

■主な経歴

- ・昭和大学医学部(1989年)
- ・山梨赤十字病院
- ・都立墨東病院
- ・昭和大学病院

■取得専門医・認定医

- ・日本乳癌学会 乳腺指導医 専門医 認定医
- ・日本外科学会 外科指導医 専門医
- ・検診マンモグラフィ読影認定医

お問い合わせ先



NTT 東日本関東病院 医療連携室

TEL:03-3448-6192 平日 8:30~17:00 まで

FAX:03-3448-6071

メールアドレス nmct_renkei-ml@east.ntt.co.jp

ホームページ <https://www.nmct.ntt-east.co.jp/>